

第四百五十三號議案

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

元老院會議筆記 明治十七年十一月七日

禁傍聽

○第四百五十三號議案 沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀 第一讀會

議長 佐野  
常民

出席議員

一番	上杉茂憲
四番	籠手田安定
七番	海江田信義
八番	神田孝平
九番	鍋島幹
十番	田中芳男
十三番	箕作麟祥
十五番	岩村定高

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

十七番	長松幹
十八番	西村周
二十一番	榎村正直
二十二番	三浦安
二十三番	大鳥圭介
二十四番	長岡護美
二十五番	大久保一翁
二十六番	本田親雄
二十七番	渡邊清
二十八番	伊丹重賢
二十九番	細川潤次郎
三十番	津田眞道
三十二番	鷺尾隆聚
三十三番	宮本小一
三十四番	神山郡廉
三十五番	楯取素彦
三十九番	橋口兼三
四十一番	楠本正隆
四十二番	西村貞陽
四十三番	柴原和

八八七

四十四番 福原 實  
四十五番 青山 貞

内閣委員 番外 參事院議員 渡 正元

同 番外 參事院議員補 若山 儀一

同 番外 參事院員外議官補 目賀田 種太郎

午前第九時四十分開場

○議長 第四百五十三號議案第一讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

布 告 案

沖繩縣酒類出港稅則左ノ通制定シ本年 月 日ヨリ施行ス

沖繩縣酒類出港稅則

第一條

沖繩縣ヨリ酒類ヲ他府縣ヘ輸出スルトキハ出港稅トシテ酒類壹石ニ付金三圓ヲ賦課ス

第二條

出港稅ヲ徵收スルタメ那覇港ニ船改所ヲ設置ス

第三條

荷主ハ酒類ヲ他府縣ヘ輸出スルトキ出港稅ヲ船改所ニ納メ船積免狀并領收證ヲ受ケ船積スヘシ

第四條

船長ハ船積免狀ニ照シ酒類ヲ船積シ出港前ニ於テ其積石數ヲ船改所ニ届ヘシ

那覇港外ノ地方ヨリ直ニ出航スルトキハ其地方役所ニ届出ヘシ

第五條

沖繩縣下ヨリ出港スル船舶ハ主任官吏ニ於テ檢査スルコトアルヘシ

但其官吏ハ主任官タルノ證票ヲ携帶スヘシ

第六條

出港稅ヲ納メスシテ酒類ヲ他府縣ヘ輸出セント謀リ又ハ輸出シタル者ハ出港稅金三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ其酒類ヲ沒收ス既ニ賈捌キタル者ハ其代價ヲ追徵ス

第七條

第四條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條

此規則ニ違犯シタル者ニハ刑法ノ不諭罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第九條

前條々ノ場合ニ於テ家族雇人及囑託ヲ受ケタル者又ハ乗組人ノ所犯ニ係ルモノト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘシ

右奉 勅旨布告候事

出席

二番 田邊 太一

○番外 渡正 例ニ違ヒ本案制定ノ要領ヲ略陳セン凡ソ稅政ノ要務ハ其課額均一ニスルニ在リ蓋シ課額均一ナラサレ

ハ人民ノ負擔ニ輕罪ノ偏ヲ生シ營業之カ爲メニ盛衰ヲ致サントス今ヤ沖繩縣民ノ如キ内地人民ト同一政府ノ下ニ居リ同一政府ノ保護ヲ受ク理宜ク内地人民ト其負擔均一ナラシムヘキヤ論ヲ俟タス然レトモ其置縣以來日尙ホ淺ク百般ノ稅法概シテ舊慣ニ仍ラシム事情已ムヲ得サルニ出ルナリ然ルニ内地ノ奸民看テ奇貨ト爲シテ造酒逃稅ヲ謀リ彼地ニ於テ酒類ヲ釀造シ其釀造稅ヲ逋レテ之ヲ内地ニ輸送シ以テ内地ノ稅則ヲ奉シテ釀造スル酒類ト同一ニ販賣シ正業者ノ生計ニ妨害ヲ與フル尠シト爲サス殊ニ鹿児島縣下ノ如キ年年酒造廢業人ノ増加スルハ沖繩縣ヨリ無稅酒類ヲ輸入スルニ制セラレ爲メニ衰微ヲ招クニ原由ス因テ速ニ此弊害ヲ防遏セサレハ畜ニ人民ノ負擔ニ輕重ノ偏ヲ生スルノミナラス内地良商ノ産業ヲ害スル漸ク大ナラントス然レトモ彼地ハ

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

酒類ヲ釀造スル爲メニ現米ヲ輸送スルト其釀造セシ酒類ヲ内地ニ輸入スルトノ運費ヲ要シ其費額已ニ内地ニ於テスル費額ニ超ユル者アリ若シ違ニ之ニ稅率ノ重キヲ加フルトキハ彼地ノ人民其負擔ニ堪ヘスシテ併セテ固有ノ物產ヲ廢棄スル無キヲ保セス故ニ姑ク時宜ヲ斟酌シ特ニ酒類ノ出港ニ相當ノ稅ヲ課シ内地酒類ノ價直ト權衡ヲ持シ奸商ノ非理ノ利益ヲ僥倖スル念ヲ絶チ課稅平均ノ便法ヲ定メ徵稅額ヲ輕クシテ良商ノ營業ヲ保護セシメントス是レ本案制定ノ旨趣ナリ願クハ各位此旨趣ヲ體シテ速ニ議決上奏センコトヲ

○二十一 榎村 内閣委員ノ辨明ニ因リ稍ヤ本案ノ要領ヲ曉

得セシモ猶ホ聊カ疑義ヲ質サン抑モ現行酒造稅規則ハ全國ニ普及スル者ニシテ未タ曾テ沖繩縣ヲ除クトノ明文アルヲ見ス而シテ其他ノ法律規則ニハ往往沖繩縣ハ之ヲ除クトノ明文アルヲ見ル故ヲ以テ沖繩縣ノ稅法ハ總テ舊慣ニ仍ル等ノ特別布告無キヲ得ンヤト百方捜査セシモ終ニ之ヲ檢出セス是ニ由テ之ヲ觀レハ今獨リ本案ヲ沖繩縣ニ布クトキハ沖繩縣人ハ酒造稅規則ニ定ムル課稅ヲ納メ更ニ本案ニ由テ賦課スル稅率ヲ納メ即チ二重稅ヲ課セラルル者ニ似タリ知ラス現行酒造稅規則ハ實際未タ曾テ沖繩縣ニ行ハレサリシヤ

○外二番若山 二十一番ノ質疑ニ答ヘン抑モ沖繩縣ノ稅法ハ特別ニ蠲免ストノ布告ハ之レ無キモ其百般ノ事情自ラ内地ト趣ヲ異ニスル爲メニ一切ノ稅法皆其舊慣ニ仍ラシム故ニ本案ニ於テモ其稅率ヲ内地ト同ウスルハ法理ノ當然ナレトモ前陳ノ理由アルヲ奈何セン然ルニ比來沖繩縣ニ於テハ殆ト酒造稅無キヲ奇貨ト爲シテ奸商輩ノ内地ニ於ケル酒造稅ヲ連脫センコトヲ謀リ彼地ニ往キテ釀造シ以テ之ヲ内地ニ輸入スル弊風ヲ生シ是カ爲メニ鹿兒島縣ノ如キ沖繩縣ニ接近セル地方ノ酒造者ハ自然ニ廢業セサルヲ得サルノ景況ヲ現スルニ至レリ本案ノ成ルハ實ニ此奸策ヲ防遏スルニ在ルナリ

○四十一番楠本 内閣委員ノ說明ニ依レハ本案ハ實ニ目下ノ弊害ヲ防クニ已ム可ラサル者ナルヲ以テ之ヲ贊成ス蓋シ本案ハ簡明ニシテ復タ疑議ノ容ル可キ無シト雖モ特リ第六條ハ稍ヤ明備ヲ缺クカ如シ其條ニ曰ク「出港稅ヲ納メスシテ酒類ヲ他府縣へ輸出セント謀リ云云シタル者ハ出港稅金三倍ノ罰金ニ處シ云云」ト夫レ「輸出セント謀ル」トハ概ネ事前ヲ云フ者ナレハ其現品ノ一部ノ或ハ既ニ船ニ載スル有リ或ハ尙ホ陸地ニ在ル有ラン然ラハ則チ其石數ハ判然ナラサルニ何ヲ以テ出港稅金ノ三倍ナル罰金ノ定率ヲ取ルヲ

レハ内地ニ於テスルト沖繩縣ニ於テスルト其損益能ク相償フヲ得ヘキヤ若シ此費用ヲ要スルモ尙ホ内地ニ於テスルヨリ餘益アリト云ハハ復タ奸商ヲ懲シテ良商ヲ護ルニ足ラサラン第四條ニハ「那覇港外ノ地方ヨリ直ニ出航スルトキハ其地方役所ニ届出ヘシ」ト言ヘリ思フニ船改所ハ那覇港ノ一所ニ設クルノミ然レハ則チ那覇港外ノ地方ヨリ出航スル者ハ唯其地方役所ニ届出ルノミニシテ足ル乎將タ其地方役所ニ届出タル後ニ那覇港ニ回航シテ船積ヲ爲スカ若シ然ラハ其荷主ハ頗ル痛苦ヲ感セン蓋シ大船ナハレ概ネ那覇港ニ在レトモ小船ハ各地ニ在レハナリ又第五條ニハ「沖繩縣下ヨリ出港スル船舶ハ主任官吏ニ於テ檢査スルコトアルヘシ」ト言ヒ而シテ罰則中ニ其檢査ヲ拒ム者ノ裁制ヲ設ケス既ニ裁制ヲ存セスンハ奸商輩ノ檢査ヲ拒ム無キヲ保セス以上各點ノ說明ヲ煩ハス

○外二番若山 一番ノ質疑ニ答ヘン說ノ如ク本案ヲ發布シテ内地ノ正業者ヲ保護セント欲スルモ若シ彼此稅率相稱ハサルトキハ却テ其目的ヲ達スル能ハサルコトニ關シテハ主務省及ヒ内閣ニ於テモ密ニ調査セシ所ナリ今試ニ内地ト沖繩縣トヲ比較シテ其損益如何ヲ調査スルニ内地ニ於テ現米百石其價金四百圓營業稅三十圓百石ノ現米ヨリ釀出スル燒酎

得ン若シ出港稅金一石三圓ノ稅率ニ據ラント欲セハ終ニ曖昧ヲ免レス要スルニ唯其文字ハ讀ムヲ得ヘキモ恐クハ事實ニ當ルヲ得サラン且問フ出港稅ナル者ハ從來此他ノ物品ニモ亦之ヲ賦課スル有リヤ

○外三番種太郎 沖繩縣ニ於テハ從來出港稅ノ課目ヲ設ケス即チ本案ヲ以テ嚆矢ト爲ス又其三倍ノ罰金ハ一石三圓ノ定率ニ據テ徵收セントス若夫レ三倍ノ罰金ハ法ヲ酒造稅規則第三十二條ノ「酒類ヲ隱蔽シタル者ハ其酒類ヲ收没シ其酒類ノ石數ニ相當スル造石稅三倍ノ罰金ヲ科スヘシ」ト言フニ取レリ且其規則中ニ無免許釀造者ニ對シテモ三倍ノ罰金ヲ科スル標準アルナリ

○一番上杉 茂憲 本案ノ大要ハ領得セシモ尙ホ二三ノ質疑ス可キ者アリ元來本案ハ内地奸商輩ノ沖繩縣ニ酒造稅ヲ施ササルヲ奇貨ト爲シ彼地ニ往キテ無稅ノ酒類ヲ釀造シ以テ内地ニ輸送スルメ爲メニ其患害ヲ受ル内地正業者ヲ保護スルヲ目的ト爲ス故ニ深ク其得失ノ如何ヲ計算セサル可ラス例セハ内地ニ於テ釀造スルトキハ稅率ハ過重ナルモ運漕費ヲ要セス之ニ反シテ沖繩縣ニ於テ釀造スルトキハ全ク課稅ヲ免ルモ原料タル穀類ヲ運漕シ又其釀造セル酒類ヲ運漕スル費用ヲ要ス是等ノ費用ノ外ニ在テ更ニ一石三圓ノ出港稅ヲ課ス

七十石其稅金三百五十圓合計七百八十圓即チ燒酎一石ノ價金十一圓十四錢餘ト爲ス沖繩縣ハ從來造石稅ハ之レ無キモ其價例ニ仍テ一月二圓即チ一年二十四圓ノ稅金ヲ課セリ故ニ現米百石ノ價金四百圓ニ加フルニ内地ヨリ輸送スル價金三十圓更ニ鹿兒島ニ輸送スル價金三十九圓ト本案ノ出港稅二百十圓トヲ以テスレハ合計七百三圓即チ一石十圓四錢二厘餘ト爲ス此ノ如キ計算ナルヲ以テ一石三圓ノ出港稅ニ止メタリ第四條第二項ハ本員モ沖繩縣ノ地勢ヲ知ラサレトモ聞クカ如キハ大概那覇ヨリ出港スト故ニ此要地ニ船改所ヲ置カハ可ナラン若シ他ノ地方ヨリ出航スル者ハ其地方役所ニ届出ヲ爲シ船積ヲ爲スニハ那覇港ヨリ免許ヲ與ヘテ地方役所ニ檢査セシム但シ是等ノ細則ハ主務省ノ達書ヲ以テ明示セント欲スルナリ其第五條ノ檢査ヲ拒ム者ノ如キハ刑法ニ明文ノ在ル有リ故ニ特ニ本案ニ掲記セス

出席

六番 野村素介

○十三番 齋作麟祥

内閣委員ノ辨明ニ依テ知ル酒造稅ノ過重ナル爲メニ内地姦商輩ノ逃稅ヲ謀リ沖繩縣ニ往キテ幾ント無稅ニ均キ酒類ヲ釀造シ以テ之ヲ内地ニ輸送シ爲メニ内地ノ正業者ヲシテ廢業セシムルニ至レルヲ故ニ本案ヲ發シテ此ヲ保護シ彼ヲ防制スルハ甚タ善シ元來同一政府ノ下ニ在テハ

其税法ノ宜ク均一ナルヘキハ言ヲ待タサレトモ沖繩ハ新置ノ縣ナルカ爲メニ其人民ニ課稅ヲ輕クスルモ亦可ナリ然ルト雖モ本官ハ別ニ杞憂ヲ懷ク無キ能ハス聞ク沖繩縣下ニハ從來泡盛ト稱スル燒酎ヲ釀造シ此燒酎ヲ内地ニ輸出スルヲ生業ト爲ス者アリト知ラス此輸出額ハ大約幾許ナリヤ我カ政府ノ沖繩縣ニ對スル處分ヲ觀ルニ其支那國ト關係ヲ有スル爲メニ專ラ撫安ヲ事トシ國民ノ義務ニ免ル可ラサル徵兵ノ如キモ亦其令ヲ今日ニ實行セスカメテ寬大ヲ旨トセリ此ノ如ク寬大ノ處分ニ出ルモ尙ホ時トシテ不平士族輩ノ支那國ニ奔ル有リ政府ヲ怨ム有リ此徒モ近年大ニ朝廷ノ寬大ナルニ服セルモ未タ全ク朝旨ノ貫徹セリトハ謂フ可ラス是レ沖繩人民ニ對シテハ稅率ヲ輕クシテ保護ヲ重クスル所以ナリ本案ハ内地ノ姦商ヲ防制スルヲ本旨ト爲ス可キモ若シ沖繩人民ニシテ從來泡盛等ヲ内地ニ輸送スルヲ以テ生業ト爲ス者アリトセハ本案ノ爲メニ其生業ヲ廢スルニ至ラン果シテ然ラハ姦商ヲ懲スト同時ニ正業者ヲ苦ムル無ランカ百般ノ施政ハ悉ク寬大ヲ旨ト爲スニ獨リ此一事ノミ反對ニ出ルハ何ソヤ故ニ本官ハ從來泡盛等ヲ内地ニ輸送スル無クンハ問ハサレトモ若シ之レ有リトセハ他ノ施政ノ寬大ハ忽チ本案ノ爲メニ水泡ニ屬シ去ンコトヲ憂フルナリ

第五條ニハ沖繩縣下ヨリト言ヘリ是レ瑣微ニ涉レトモ斯ク

兩様ニ用字ヲ下ストキハ人民或ハ第一條ハ沖繩縣全域ヲ指シ第五條ハ縣廳下即チ縣廳所在地ヲ指ストノ疑ヒ無キヲ保セス知ラス特ニ注意シテ此用字ヲ下セリヤ第六條ハ隣席議員ノ既ニ質問シタレトモ其説明ノ未タ足ラサル如キヲ以テ更ニ問ハン即チ第六條ノ質問ニ對シ内閣委員ハ酒造稅規則第三十二條ヲ援引シタレトモ彼ハ隱蔽シタル者ナルヲ以テ發覺スレハ其石數モ判然ニ知ル可キカ故ニ三倍ノ罰金ヲ科スルヲ得レトモ之ニ反シテ本案ハ輸出セント謀リト言ヘルナレハ三倍ノ率ヲ得ルノ方途ナカラン若シ三十石五十石ヲ輸出セント謀リシナレハ三倍ノ罰金ニ處スルヲ得ルモ其謀ルヤ種種ノ手段アル可シ敢テ其算則ノ由テ起ル所ヲ問フ

○**外三番種太郎**

第五條ノ「縣下」ノ下ノ字ハ敢テ他意アルニ非ス參事院ニ於テ數回修正ヲ加ヘタルヲ以テ偶然ニ塗抹

スルヲ怠タリシノミ即チ第一條ト共ニ沖繩縣全域ヲ指スナリ第六條ノ場合ニハ二様ノ差別アリ其一ハ出港稅ヲ納メスシテ輸出スル者ヲ謂ヒ其一ハ出港稅ヲ納メス檢査ヲ經スシテ輸出スル者ヲ謂フ此二様ノ場合ハ共ニ輸出ヲ謀ル者ナレハ酒類ノ現存スルハ論ヲ待タス若シ現存スル酒類ナクンハ唯是レ豫案中ニ在テ未タ輸出ヲ謀ルトハ認定ス可ラサルナ

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

○**外三番種太郎** 出港稅ヲ一石三圓ニ定メタルハ沖繩人民ノ

内地ニ酒類ヲ輸送スルヲ生業ト爲ス者ニ害セス而シテ内地奸商ノ彼地ニ往キテ逃稅ヲ謀ル者ヲ制スル中庸ノ程率ニ取リシナリ抑モ沖繩人民ノ酒類ヲ釀造スルニハ米ヲ以テスル者ト黍ヲ以テスル者トノ二種ニ區別ス米ヲ以テ釀造スル者ハ中等社會以上ノ飲料ニ供スルニ在テ那覇首里ノ兩所ニ限り而シテ最モ那覇ヲ多シトス十六年ニ那覇ニ於テ釀造セル總額ハ八千九百九十五石ト爲ス是ヨリ以前ノ各年モ恐クハ八九千石ノ間ニ在ラン其黍ヲ以テ釀造スル者ハ專ラ下等人民ノ自家用料ニ供スルノミ此八九千石中ノ若干石ヲ内地ニ輸送スルヤハ判然ナラサレトモ其半額ト假定セハ蓋シ中ラ又其釀造戸數ヲ調査スルニ十二年ニハ一百二十五戸ナリシモ今ヤ減シテ六十戸ニ下レリ但シ實際ニ檢覈セシニ免許稅ヲ納メスシテ窃ニ釀造スル者現ニ二百餘戸アリ是ニ由テ之ヲ觀レハ土人中ニモ既ニ逃稅ヲ謀レル姦商アルナリ故ニ三圓ノ出港稅ヲ課スルトキハ彼此ノ奸商ヲ防制スルニ足ル可シ

○**四十三番柴原** 本案ノ要領ハ内閣委員ノ説明ト各位ノ内閣

委員ニ質問セル答辨トニ因テ之ヲ知り其大體ハ贊成スレトモ二三ノ質問ヲ爲サント欲ス第一條ニハ沖繩縣ヨリト言ヒ

○**二十六番親雄** 本官ノ質問セント欲スル疑點ハ各位既ニ之

ヲ質問シ内閣委員答辨セルニ因テ曉得セシモ更ニ一事ヲ質問セン抑モ一石三圓ノ出港稅ヲ課スルハ新法ナリ元來沖繩縣ノ造酒者ハ每戸二圓ノ月稅ヲ納メ而シテ此月稅ハ舊慣ニ仍ル者トス故ニ今此舊慣ノ月稅ニ加フルニ本案ノ出港稅ヲ以テセハ合計五圓ノ課稅ト爲ル知ラス本案ヲ布ケハ舊慣ノ月稅ハ之ヲ廢スルカ

○**外二番若山** 二十六番ノ疑問ハ稍ヤ了解スルニ苦メトモ推

測スル所ニ因テ之ニ答ヘンニ沖繩土人タル造酒者ノ月稅ハ二圓ニシテ一年二十四圓ト爲ス是レ恰モ内地ノ營業稅ナル三十圓ニ同キ者ナリ今敢テ二圓ノ月稅ニ加フルニ更ニ一石三圓ノ課稅ヲ以テスルニ非ス一石三圓ハ出港稅ニシテ猶ホ内地ノ造石稅ノコトキ者ナリ思フニ内地ナレハ造石稅ハ一石五圓ナレトモ沖繩ハ運送賃ヲ要スルヲ以テ三圓ト定メタリ蓋シ内地ト同ク宜ク樽桶ノ容量等ヲ檢査スヘキモ然スルトキハ民心ヲ傷フヲ以テ姑ク之ヲ寬假セリ是ヲ以テ官吏ノ如キモ務メテ土人ノ中ニ取り以テ煩勞ヲ省カント期スルナ

○**議長** 他ニ質問發議ナキヲ以テ第一讀會ヲ畢ル第二讀會ハ

來十日ニ之ヲ開カン散會セヨ

午前第十時三十五分開場

元老院會議筆記 明治十七年十一月十日

禁傍聽

○第四百五十三號議案 沖繩縣酒類出港 第二讀會

稅則改正ノ儀

議長 佐野 常民

出席議員

一番	上杉茂憲
二番	田邊太一
四番	籠手田安定
五番	東久世通禧
六番	野村素介
八番	神田孝平
九番	鍋島幹
十一番	津田出
十二番	河田景與
十三番	箕作麟祥
十四番	稅所篤

十五番	岩村定高
十六番	岩下方平
十七番	長松幹
十八番	西周
二十番	林友幸
二十一番	檳村正直
二十二番	三浦安
二十三番	大鳥圭介
二十四番	長岡護美
二十五番	大久保一翁
二十六番	本田親雄
二十七番	波邊清
二十八番	伊丹重賢
二十九番	細川潤次郎
三十番	津田眞道
三十三番	宮本小一
三十四番	神山郡廉
三十五番	梶取素彦
三十九番	橋口兼三
四十番	井田讓

○議長 第四百五十三號議案ノ第二讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

布告案

沖繩縣酒類出港稅則左ノ通制定シ本年 月 日ヨリ施行ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ可ト決シ第一條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

沖繩縣酒類出港稅則

第一條

沖繩縣ヨリ酒類ヲ他府縣へ輸出スルトキハ出港稅トシテ酒類壹石ニ付金三圓ヲ賦課ス

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

○三十番 津田 眞道 各位ノ同意ヲ得ルヤ否ヤヲ知ラサレトモ試ミ

ニ修正說ヲ提出シ本官ノ想考スル所ヲ陳述セン其修正タル「酒類壹石ニ付金三圓ヲ賦課ス」ト言ヘル「三」ノ字ヲ二ノ字ニ改メントスルニ在リ抑モ第一讀會ニ方リ某議員ノ陳辯セル如ク沖繩縣ニ於テハ從來出港稅ハ一錢タモ賦課セサリシニ今回頓ニ三圓ヲ賦課スルハ急激ニ過ルノ里慮ナキ能ハス原來本案ノ如クセシハ沖繩縣ノミ舊慣ニ任セ無稅輸出ヲ許ストキハ奸商之ヲ奇貨トシテ非理ノ利益ヲ僥倖シ正業者ノ生計ニ妨害ヲ與フル尠カラサルヲ以テ斯ク壹石ニ三圓ノ出港稅ヲ賦課セサル可ラスト言フニ在ン然レトモ本官ノ想考スル所ハ壹石ニ金二圓ト修正シテ造石稅ト權衡ヲ持セシメント云フニ非ス曩ニ酒造稅則ニ明掲セル造石稅ノ二圓ナリシヲ四圓ニ改メシハ陸海軍ヲ擴張スル爲メニハ已ムヲ得サルコト、信シテ同意ヲ表シタリ是レ蓋シ當初二圓ナリシヲ倍シテ四圓ニ改メタルカ故ニ從來ノ造石額ヲ四百萬石ト爲セハ其稅金ハ八百萬圓ナルヲ以テ増稅ニ因リ一千六百萬圓ヲ收入ス可キ比例ニシテ其八百萬圓ハ陸海軍擴張ノ費用ニ充テ以テ歐米各國ト比肩セントスル翹望ニ出テ其必ス然セサル可ラサルヲ信セシナリ然ルニ近時新聞紙ノ報道スル所ヲ觀ルニ京坂地方ノ酒造家ハ造石額ヲ半減スルニ至レ

リト此報道ヲシテ實ナラシメハ一千六百萬圓ヲ收入シ得ヘシト信セシモ何ソ圖ラン依然八百萬圓ヲ收入シ得ルニ過キスシテ初ヨリ増稅ヲ爲ササルト其結果ヲ同ウス新聞紙ノ報道スル所ハ虛實如何ヲ知ラサレトモ強カチ架空ノ妄說ニモ非サル可シ況シテ世上ノ景況ヲ觀察セハ處トシテ不融通不景氣ノ嘆聲ヲ絶タサルハ諸君ノ熟知セル所ナルヲヤ夫レ此ノ如ク酒類ノ造石額ヲ減少セルハ醸造スルモ販賣ノ途ヲ得サルニ原因ス其造石額ニ減少ヲ來スハ必然ノ理勢ト謂フ可シ其造石額ノ二分ノ一ヲ減セシヤ將タ三分ノ一ヲ減セシヤハ詳知スルヲ得サレトモ其減シタルハ疑フ可キニ非ス是レ必ス酒造稅壹石金二圓ナリシヲ金四圓ト爲セシ影響ナルノミ又本邦輸出品ノ最モ著名ナル生糸及ヒ製茶ノ如キ橫濱神戸ニ於テモ其輸出額ヲ減シ隨テ其價值ヲ降スニ至リ縱令直輸出ヲ爲スモ亦損失ヲ受ケサルヲ得ス加旃日本全國ニ於テ四百萬石ノ米ヲ糜シテ造酒ニ充ツト看ハ三千萬石中ノ二千六百萬石ヲ食用ト爲シ其餘ハ悉ク之ヲ造酒ニ供セシナランモ新聞紙ノ報道セル如クナラハ二百萬石ヲ餘スニ因リ十五年ト十六年ト本年トヲ合算スレハ大凡六百萬石ヲ餘セルナル可シ事實斯ノ如クナルヨリ米價下落ス昔時ハ米價下落スレハ人民其生活ノ易キヲ喜フ慣習ナリシモ近來ハ米價下落

ヲ致サス米價ニ濫高下ヲ生セシテ大ニ農民ニ便益スル有ラン歐米各國ニ在テハ麥ヲ以テ常食ト爲セルモ其價ニ濫高下ヲ生スルヲ聞カス是レ政略ノ宜キヲ得タルニ由ル可キモ其基ク所ハ航海術ノ早ク開ケ貿易商業ノ常ニ盛ナルニ在ルナラン我國ノ如キハ大ニ之ト異ニシテ多ク酒類ヲ醸造スルトキハ隨テ多ク米穀ヲ販賣シ得ヘク需要ノ以テ供給ヨリ増セル爲メニ米價騰貴スルトキハ人民復タ不融通不景氣ヲ口ニ唱ル無キニ至ル可シ僅ニ貳百萬石ノ米穀ト雖モ其措置ヲ施サスシテ現狀ニ放委スルトキハ何ノ時カ能ク此衰退ノ景況ヲ救濟スルコトヲ得ン徒ニ米穀ヲ腐敗ニ歸セシメンノミ昔時幕府閣老水野出羽守ハ豐年米粟ノ過多ナルニ苦ミ之ヲ海中ニ投棄セシメタリト云フ今日飲酒者ヲ増スハ喜フ可キコトニ非サレトモ徒ニ堆積シテ腐敗ニ歸セシムルニ比スレハ稍ヤ得策ト謂フ可シ懶惰者ノ爲メニハ其害ヲ加ヘンモ彼ノ人力車夫ノ曉天ヨリ夜陰ニ至ルマテ東奔西馳スル者ノ如キ下等社會ニ在テハ一盃ノ晚酌以テ其勞役ヲ醫ス抑モ酒ナリ煙草ナリ人人大抵之ヲ嗜マサル莫シ然レトモ酒ヲ嗜ム者八十人ニ六人ノ比例ニシテ煙草ヲ嗜ム者八十人ニ八人ノ比例ナル可キニ因リ概シテ之ヲ言ヘハ多數ノ嗜好物ト謂ハサルヲ得ス既ニ多數ノ嗜好物ナル以上ハ到底禁遏スルコト

スレハ人民却テ困窮ス是レ實ニ怪ム可キナリ三千六百萬ノ人民多クハ農ニ屬スレトモ農ハ其收穫ヲ自家ノ食料ニ供セス賣テ以テ諸費ニ充ル者トス然ルニ米價下落スレハ收穫ヲ賣ルモ利潤ヲ得ル能ハス蓋シ農工商共ニ利潤ヲ得ルハ到底難事ナリト雖モ近年ノ如ク農工商共ニ困窮スルハ古來聞知セサル所ナリ昔日人民ノ困窮セシハ凶荒ノ歲ニ在リ本官幼時飢饉ニ遭フテ多人ノ餓死シ又百姓一揆ト唱ル者ノ蜂起セシコトヲ聞ケリ當時三千萬石ノ收穫ヲ得ヘキニ僅ニ百萬石内外ニ上ラサリシヨリ人民概シテ粥ヲ啜リ草根木皮ヲ食セシモ其物料スラ全ク竭キテ餓死ニ載チタリシニ今日ハ之ニ反シテ食ニ餘リ有ルモ衣服ヲ買フ能ハス米ニ餘リ有ルモ魚菜ヲ買フ能ハス過日埼玉縣ニ暴徒蜂起セシヤ其原因ハ種種ナル可キモ所謂不融通不景氣ノ近因ヲ爲セルハ諸君ノ熟知スル所ナラン本官ノ如キモ此景況ヲ憂慮スレトモ未タ之ヲ挽回スル方策ヲ得サルナリ已ム無ンハ酒造稅一石金四圓ナルヲ二圓若クハ三圓ト爲サハ可ナラン歟一石金二圓ニ減スルトキハ酒造者ニ於テモ利潤ヲ得ルニ因リ醸造額モ四百萬石ニ上ラン然レハ一石四圓ノ造石稅ヲ徵シテ二百萬石ヲ醸造セシムルヨリハ一石二圓ノ造石稅ヲ徵シテ四百萬石ヲ醸造セシムルニ如カサラン斯ノ如クスルモ政府ノ收入ニ増減

能ハサル可シ聞ク米國ニハ禁酒會ノ設ケ有リト是レ道徳上ニ於テハ嘉ス可キコトナレハ百年ノ後ニハ行ハルヲ得ンモ到底今日ニハ行ハル可キニ非ス日本全國ノ多數人民力酒ヲ嗜ムナレハ容易ク其飲料ヲ供シ得ルコトヲ要ス彼ノ埼玉縣ノ暴徒ノ變動ヲ起スニ至テハ其事後ノ景況果シテ如何ソヤ暴徒ハ刑ニ處セサルヲ得ス而シテ其家族ハ活計ヲ立ル能ハサラン又其暴舉ニ際シテハ政府モ之ヲ鎮壓スルニ兵隊ヲ派セサル可ラス實ニ困難ニ困難ヲ重ヌル者ト謂フ可シ故ニ本官ハ造石稅ノ壹石四圓ナルヲ貳圓若クハ三圓ニ減セント欲シ調査ヲ經テ酒造稅則修正意見書ヲ提出セント期スレトモ今先ツ本案ノ三圓ト爲セルヲ貳圓ニ改メン元來酒造稅則ノ改正ニ關シ綿密ナル調査ヲ遂ケタルニ非ス只唯新聞紙ノ記載セル所ニ據テ見解ヲ立タルノミ然レトモ新聞紙ノ記載セル所ヲ信シ民間ノ困窮ト埼玉縣暴徒ノ景況トヲ考察シ加フルニ或ハ他ノ地方ニ於テ暴徒ノ蜂起スル無キヲ保シ難キヲ以テセハ此時ニ當テ之ヲ救濟スル方策ヲ講セサル可ラス蓋シ酒造稅ヲ減少スル如キ或ハ拙策ナルヤヲ知ラサレトモ稍ヤ今日ノ人情ニ適スル者ト想考ス故ニ各位ノ幸ニ先ツ本案ノ「金三圓」ヲ「金二圓」ニ改ムル修正ヲ贊成シ以テ今日民間逼迫ノ景況ヲ挽回センコトヲ切望ス

○二十七番 渡邊 賛成ス壹石ニ金三圓ヲ賦課スルハ重キニ過ク原案ノ如クナレハ恐クハ酒造者ヲ減少スルニ至ラン沖繩縣ハ其産出物品モ泡盛砂糖等ニ過ギサレハ其營業ニ妨害セサル爲メニ務メテ税額ヲ輕クスルヲ要ス然レトモ若シ提督ヲ施ササレハ奸商之ヲ奇貨トシテ私利ヲ占ルニ由リ宜ク正業者ヲ保護スヘク犯則者ニハ四倍若クハ五倍ノ罰金ヲ徵スルモ可ナリ故ニ本官ハ三十番ト所見ヲ異ニスレトモ其減額ヲ爲スハ同感ナリトス

○議長 三十番ノ「三圓」ヲ「二圓」ト改ムル修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

退席

八番

神田 孝平

○外二番 若山 三十番ノ動議ハ其事枝葉ニ涉ルヲ以テ沈黙ヲ守ルモ可ナレトモ原案ノ主旨ヲ明カス爲メニ聊カ陳辨セン本員等ノ想考スル所ヲ以テスレハ今日民間ノ困迫ハ紙幣ノ變動ヲ第一ト爲シ地租ノ過重之ニ次ク聞ク地租ノ過重ナル昔時印度「アシラ」府ニ行ハレタル過重ノ地租ヨリモ甚シト三十番ハ酒造税則ノ造石税ヲモ改定セント云フ未タ其意見書ヲ見ルヲ得サレトモ本案ハ第一讀會ニモ陳述セシ如ク三圓ヲ賦課スルモ決シテ偏頗ナルニ非ス内地ニ於テ現米壹石ノ價金四圓即チ百石ニ四百圓ニシテ營業税三十圓ト爲シ

百石ノ米ヨリ釀出スル燒酎七十石ニシテ其税金三百五十圓合計七百八十圓ナリ然ルニ奸商ノ酒造税ヲ逃脱セント謀リ沖繩縣ニ於テ釀造シ以テ内地ニ輸入スル弊風ヲ生シ爲メニ鹿兒島地方ノ正業者ハ自ラ其業ヲ廢スル景況ヲ現スルニ至レリ本案ヲ制定セルハ實ニ此奸策ヲ防遏スルニ在リ願クハ原案ノ如ク議決センコトヲ

○議長 三十番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ  
起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ三十番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 他ニ發議ナクハ決ヲ取ン本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者三十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル  
書記官 森山 朗讀

第二條

出港税ヲ徵收スルタメ那覇港ニ船改所ヲ設置ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者三十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

第三條

荷主ハ酒類ヲ他府縣ヘ輸出スルトキ出港税ヲ船改所ニ納メ船積免狀并領收證ヲ受ケ船積スヘシ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
起立者三十三人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル  
書記官 森山 朗讀

第四條

船長ハ船積免狀ニ照シ酒類ヲ船積シ出港前ニ於テ其積石數ヲ船改所ニ届ヘシ

那覇港外ノ地方ヨリ直ニ出航スルトキハ其地方役所ニ届出ヘシ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル  
書記官 森山 朗讀

第五條

沖繩縣下ヨリ出港スル船舶ハ主任官吏ニ於テ検査スルコトアルヘシ

沖繩縣酒類出港税則制定ノ條

但其官吏ハ主任官タルノ證票ヲ携帯スヘシ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ  
總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ可ト決シ次條ニ移ル  
書記官 森山 朗讀

第六條

出港税ヲ納メスシテ酒類ヲ他府縣ヘ輸出セント謀リ又ハ輸出シタル者ハ出港税金三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ其酒類ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徵ス

○二十二番 三浦 安 「輸出セント謀リ」ト言ヘルヲ「輸出セントシ」ト修正セン第一讀會ニ一二議員ノ内閣委員ニ質疑セシ如ク「謀リ」ノ文字ハ刑法ニ掲ル謀殺ノ謀ノ字ナレハ之ヲ以テ輸出シタル者ト同視スルハ不可ナリ故ニ「輸出セントシ」ト爲セハ事實ニ顯ハレタル者ニシテ其罪狀モ明白ナルヲ得ン

○二十三番 大島 圭介 賛成ス「謀リ」ノ字ヲシニ換ルハ至當ナリ其理由ハ發議者ノ陳辨セシ如ク「謀ル」トハ俗語ニ於テハ相談ヲ爲スト云フニ在リテ之ヲモ罰金ニ處スルハ不可ナリ形跡ニ顯レタル以上ニ非サレハ科罰ス可ラス

○三十五番 榊取 素彦 本官モ賛成ス本條ノ場合ハ固ヨリ未遂犯ナ

レハ之ニ出港税金三倍ノ罰金ヲ徵スルハ不可ナリシノ字ニ改ルニ如カス

○議長 二十二番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十三番 實作 現問題ノ如クスルモ解シ難キニハ非サレトモ

本官ハ原案ノ如クニシテ可ナルヲ信ス刑法第一編第九章即チ未遂犯罪ノ章中第百十一條ニ「罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セス」ト言ヘリ本條ノ「謀リ」ノ字ハ輸出セント相談スル如キ者ヲ謂フナル可シ佛蘭西語ニ所謂「タンカチーフ」即チ心ニ思ヘルノミヲ指言スルニ非ス刑法第百十一條ハ心ニ思ヘルノミヲ指言スルニ非サルヲ以テ若シ輸出セントスル準備ヲ爲サハ則チ出港税金三倍ノ罰金ニ處スト云フニ在リテ準備ヲ爲セハ既ニ罪ヲ犯シタルニ同シ故ニ現問題ノ如クスルモ可ナレトモ是レ刑法ノ原則ト事例ヲ同ウスルナレハ刑法ト文字ヲ同ウスルヲ優レリトス

○四十三番 柴原 第一讀會ニ於テ「謀リ」ノ文字ト三倍ノ罰金トノコトニ關シ内閣委員ニ質疑シ第二讀會ニ至ラハ修正説ヲ提出セント欲セシニ二十二番ヨリ内閣ノ旨意ヲ酌ミシノ字ニ改ムル修正説ヲ提出セリ本官ハ爲シト改メント思ヒ

税ヲ謀リ若クハ脱税ノ便ヲ與ヘタル者云云」ト言ヘル有リ且既ニ刑法ニ「謀リ」ノ文字ヲ用フルヲ以テ本官ハ原案ヲ是認ス

○二十二番 三浦 本條ハ刑法ノ原則ト其場合ヲ異ニス刑法ノ原則ニ據レハ未遂犯罪ノ罪ヲ科セサルニ在レトモ若シ然スルトキハ提警ノ周密ナラサルカ故ニ本條ヲ以テ之ヲ罰スルナレハ刑法ト比照シテ論ス可キ者ニ非ス是レ全ク別法ト看サル可ラス罪ヲ科セサルニハ「謀リ」ノ文字ヲ用ルモ可ナレトモ罰ニ處スルニハ十分ニ明瞭ナラシムルヲ要ス二十八番ノ煙草税則ヲ引證セルハ誤レリ是レ帳簿ノ登記ヲ詐リテ脱税ヲ謀ル形跡ノ存スレハナリ本條ノ場合ハ輸出セント相談スルニ止マル者ナレハ形跡ノ分明ナラサルニ苦シム刑法第百十一條及ヒ煙草税則第三十六條ハ共ニ援引其當ヲ得サルナリ

○三十九番 橋口 「輸出ヲ謀リ」ト爲セハ石數ヲ算出スルニ困ムト云フモ謀ルトハ他人ト謀リ若クハ自ラ謀ルヲ謂フニ在リテ假令他人ト謀ル有ルモ實際ニ其物品ノ存セサレハ檢察官ト雖モ奈何トモスル能ハス既ニ三倍ノ罰金ニ處スト言フ以上ハ其形跡ノ明白ニシテ石數ノ算出ス可キ者ナルハ論ヲ待タス故ニ本官ハ原案ヲ是認ス

シモ現問題ノ如クシテ支障ヲ見サルヲ以テ之ヲ賛成ス抑モ原案ノ如クセハ取押告發ヲ爲スニ苦マン倉庫内ニ在ル樽酒ヲ輸出セント相談スル書翰ヲ證據ト爲スモ其石數ハ算出ス可ラスシテ終ニ其罪ヲ逃ルルニ至ラン十三番ハ刑法第百十一條ニ依テ論難セルモ刑法ノ明文ハ刑ヲ科セサルヲ主意ト爲スニ在リテ本案ハ刑ヲ科スルニ在レハ石數ヲ算出スルニ苦マン是レ文字ハ同シキモ主旨ハ異ナリ故ニ二十二番ノ説ニ決センコトヲ望ム

○四十一番 楠本 本官ハ別ニ想考スル所アレトモ錯雜ニ涉ルヲ恐ルルヲ以テ第三讀會ニ讓リ今先ツ問題ヲ賛成ス

○十三番 實作 本官ハ原案ノ如クシテ可ナルヲ信シ刑法ノ未遂犯罪ノ條ヲ引テ陳辨セシニ某議官ハ刑法第百十一條ハ刑ヲ科セサルニ在レトモ本案ハ刑ヲ科スルニ在リト云ヘリ是レ本官ノ辨明ノ足ラサルヨリ此疑難ヲ來セシナル可シ本官決シテ本案ヲ刑法ト同一ナリト論セシニ非ス内閣ハ例外法ヲ立テタリト看テ刑法第百十一條ヲ援引セシノミ其同一ナラサルハ素ヨリ明白白ナリトス

○二十八番 伊丹 原案ニ從フモ問題ノ如クスルモ大同小異ナルノミ既ニ大同小異ナル以上ハ修正スルヲ要セス宜ク原案ニ從フヘシ煙草税則第三十六條ニモ「帳簿ノ登記ヲ詐テ脱

○二十九番 細川 本官モ原案ヲ是認ス明治十年八月十一日第五十六號布告北海道諸産物出港税則並各港船政所規則ノ第十條ニ「諸船舶出港税未納或ハ納税目錄外ノ産物ヲ竊ニ積載各府縣へ輸送セント謀リ又ハ府縣下ニ於テ陸揚スルモノハ科料トシテ云云」ト言ヘリ其文字ニ輸出ト輸送トノ差異アレトモ既ニ此ノ如キ類似ノ明例ヲ見ル以上ハ原案ニ據ルヲ可ナリトス

○四十三番 柴原 二十九番ノ言ハ至當ナルニ似タレトモ其援引セシ布告文中ニハ積載ノ文字ヲ掲ケ其形跡ヤ明白ナルモ本案ノ如キハ積載ノ文字ヲ掲ケス隨テ三倍ノ罰金ニ科スル者トス既ニ三倍ト云フ以上ハ必ス事實ニ徵スル石數ナカル可ラス然ラサレハ石數ハ得テ算出ス可ラス豈敢テ密輸出ヲ謀ル書翰等ノ證據ヲ以テシテ算出シ得ヘケンヤ蓋シ若シ若干圓ノ罰金ヲ科スルト云フニ在レハ原案ノ如クシテ可ナレトモ三倍ト云フ以上ハ其之ヲ算出スル實品ナカル可ラス故ニ二十九番ノ言ヘル積載ノ實際アル場合トハ大ニ異ナリ二十九番ハ恐クハ積載ノ文字ニ注意セサリシナラン

○二十三番 大鳥 輸送ト輸出トハ別異アラン輸出トハ他ニ出タスコトニシテ倉庫内ニ於テモ之ヲ言フ可ク輸送トハ實物ヲ輸送スルニ在リ故ニ曖昧ナル文字ヲ用フルヨリハ明白ナ





覇港ヨリ他府縣ニ輸出セントスル船載酒類ヲ提審スルニ在ルナリ

○三十五番 梶取 犯則ヲ謀ルハ倉庫内ニ在ル者ト雖モ亦之ヲ謀ルト謂ハサル可ラス那覇港ハ暫ク措キ凡ソ倉庫納屋等ハ大抵海岸ニ建造スル者ニテ此酒樽ハ輸出シ此酒樽ハ輸出セスト言ヒテ免狀ヲ請フ有ニ此場合ニ於テハ容易ク脱稅輸出ヲ謀ルヲ得ン故ニ船積セル者ニ限ルト爲セハ犯則ニ便ヲ與ヘ之カ提審ヲ爲ス極メテ難カラシ内閣委員以テ何如ト爲ス

○十三番 實作 本官ハ本條ヲ刑法ノ未遂犯罪ノ例外法ト見タルニ番外一番ハ第三條ノ制規ヲ犯ス者ナリト辨明セリ果シテ然ラハ第七條ノ「第四條ノ届出ヲ爲ササル者ハ云云」ト言ヘルニ倣ヒ「第三條ヲ犯ス者ハ云云」ト言フヲ簡明ナリトス何ソ「出港稅ヲ納メスシテ酒類ヲ他府縣ヘ輸出セント謀リ」ト言ヘル如キ長文ヲ要セン此條ノ行文ノ如クナレハ倉庫内ニ於テ手代水夫等ト密ニ輸出センコトヲ相談スル如キヲモ包含スル者ト解セサル可ラス故ニ第三條云云ノ辨明ハ本官之ヲ信スル能ハス時<sup>已</sup>ニ正午ニ近ケレハ午前ノ議事ハ此ニ止メ暫ク熟考ノ餘地ヲ與ヘンコトヲ望ム

○四十三番 柴原 只今十一番ノ解説セル如クナレハ原案ニシ

二番	田邊 太一
四番	籠手田 安定
五番	東久世 通禧
八番	神田 孝平
九番	鍋島 幹
十二番	河田 景與
十三番	實作 麟祥
十七番	長松 幹
十八番	西 周
二十番	林 友幸
二十一番	楨村 正直
二十二番	三浦 安
二十三番	大鳥 圭介
二十四番	長岡 護美
二十五番	大久保 一翁
二十七番	渡邊 清
二十八番	伊丹 重賢
三十番	津田 眞道
三十三番	宮本 小一
三十四番	神山 郡廉

沖縄縣酒類出港稅則制定ノ儀

テ可ナリ即チ倉庫内ニ於テ内密ニ相談スル如キ其石數ヲ算ス可ラサルニ因リ無罪放免ト爲スナラン然ラハ假令何等ノ手段ヲ相談スルモ石數明白ナラサレハ無罪ニ歸ス可シ是レ「謀リ」ノ文字ニ疵病アリト云フ所以ナリ番外一番ハ那覇港ノコトヲ言ヘトモ第四條第二項ニハ「那覇港外ノ地方」云云ノ明文アリ故ニ那覇港ニノミ船ヲ寄ルニ止ラス十一番ノ言ノ如クセハ却テ有罪者ヲ無罪放免ニ付スルノ失當ヲ致スニ至ラントス

○議長 時<sup>已</sup>ニ正午ナレハ一旦散會シ午後ニ續會ヲ開カン散會セヨ

正午閉場  
午後ノ開會ハ翌十一日ニ延ヘリ

元老院會議筆記 明治十七年十一月十一日 禁傍聽

○第四百五十三號議案 沖縄縣酒類出港稅則制定ノ儀 第二讀會<sup>十日ノ續會</sup>

議長 佐野 常民

出席議員

一番 上杉 茂憲

三十五番 梶取 素彦

三十七番 大給 恒

三十九番 橋口 兼三

四十番 井田 讓

四十一番 楠本 正隆

四十三番 柴原 和

四十四番 福原 實

四十五番 青山 貞

内閣委員 渡 正元

番外 一番 目賀田 種太郎

同 三番 參事院議員 外議員補

午前第九時四十五分開場

○議長 本日ハ第四百五十三號議案昨日ノ續會ヲ開ク

○番外 一番 渡 正 本条ハ第一條ヨリ第五條マテ容易ニ議場ヲ經過セシニ第六條ニ至リ「輸出セント謀リ」ト言ヘル文字ニ

對シ各議員ノ意見ヲ異ニセルヨリ許多ノ議論ヲ起生シ殆ソト究極ナキニ至レリ各議員中或ハ内閣委員ノ説明如何ニ關セズ本官ハ此ノ如ク解釋スト云ヒ或ハ現行刑法第百十一條ノ旨趣ニ基キ陰謀ノ謀ノ字ナリト解セル有リ然ルニ本條ノ謀ノ字ハ此ノ如キ深奥ノ意義アルニ非ス即チ明治十年ニ發布セル北海道諸產物出港稅則ニ輸送セント謀ルト言ヘルニ

同シ故ニ刑法ノ旨趣ニ據テ解スル無キヲ要ス本日ハ昨日ノ續會ナルヲ以テ各議員ノ參考ニ供セン爲メニ本條ノ旨趣ヲ陳辯スル此ノ如シ請フ之ヲ諒セヨ

出席 十四番 稅所 篤

○四十番 井田 昨日二十二番議員ハ本條ノ「謀リ」ノ字ヲ削リテシノ字ニ改メント云ヘリ本官ハ此條ニ疑團ヲ懷クヲ以テ内閣委員ノ辨明ヲ請ヒシニ「謀リ」ト爲スモシト爲スモ事ニ於テ障礙セスト答ヘタレトモ其議員ノ解釋セシ如クナレハ決シテ輕輕ニ看過スル能ハス其議員ハ曰フ此條ニ於テハ唯其輸出セントスル者ニ止マラス倉庫中ニ在ル酒類ト雖モ密ニ輸出セントスル念慮アレハ罰ニ處セサルヲ得スト故ニ本官ハ遂ニ疑團ヲ釋クニ由シ無ク取決ニ際シテ起立ヲ表スルニ苦ミシニ只今内閣委員ノ詳説ヲ聽キテ始メテ了解セリ本官ノ精神ハ二十二番ノ輸出セントシト改ムル説ニ傾向スルモ其修正ハ未タ周密ナラサル有ルヲ以テ之ニ同意セス第三讀會ニ於テ別ニ修正説ヲ提出セントス今之ヲ豫陳スレハ「出港稅ヲ納メスシテ」ノ九字ヲ削除シ之ニ換ルニ「第三條ノ手續ヲ爲サス密ニ積載ノ」ノ十五字ヲ以テセントスル是ナリ

出席 二十九番 細川 潤次郎

レハ其加罰スルト否トハ裁判官ノ意見ニ在ルモ謀ルニ止マル者ヲ處罰スルハ苛酷ナルニ似タリ今此ニ甲乙協議シ酒類ヲ船載スル準備ヲ爲シ既ニ輸出セントスルハ刑法ニ於テ「犯サントシ云々」及ヒ「犯サントシテ未タ遂ケサル者云云」即チ第百十二條第百十三條ニ該當ス又第百十八條ニ危害ヲ加ヘントシタル云云ト言ヘルモ同義ナリ本條ノ「謀リ」ノ文字ハ全ク刑法第百十二條第百十三條ノ精神ヲ含ム者ナレハ謀ノ字ヲ置クハ穩當ナラス寧ロセントシト改ムルヲ以テ内閣立案ノ旨趣ニ適合スル者ト思考ス

○十三番 箕作 本官ハ昨日刑法第百十一條ヲ援引セシカ是レ固ヨリ第百十一條ノミナラス第百十二條及ヒ第百十三條モ參考セシナリ然ルニ内閣委員ノ説明ニ據レハ本官ノ見解ハ内閣立案ノ精神ト背馳スルニ似タリ然レトモ罰則ハ到底刑法ヲ根基ト爲ササル可ラサルヲ以テ内閣ニ於テモ必ス準率ヲ此ニ取レリト思考セシニ今其然ラサルハ實ニ本官ノ意思ノ外ニ在リ本官ハ初ヨリ本條ハ内閣ニ於テモ特別ノ嚴法ヲ設ケ刑法ニ於テハ處罰セサル謀リ又ハ豫備ヲ爲ス者ニモ處罰スルコトト解セシナリ然レトモ内閣ニ於テ決シテ刑法ヲ

反顧スルヲ要セスト云ハハ已ムヲ得サルノミ問題説ノ發議者ハ本條ノ事犯ヲ輕罪ニ非スト云フハ誤レリ是レ純然タル

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

○三十五番 樽取 本條ハ其區域ヲ廣潤ナラシメントコトヲ要ス昨日某議員ノ陳辯セシ如ク此條ノ加罰ノ旨趣ヲ既ニ港内ニ積出セル者ニ限ルトキハ脫稅ヲ圖ル者ノ奸策ヲ防制スル能ハス故ニ未タ積出サスト雖モ其犯則ノ形迹分明ナルトキハ固ヨリ處罰セサル可ラス且凡ソ人民ノ倉庫ハ其構造素ト堅

牢ナラサレハ提轄ノ方法モ亦隨テ嚴密ナラサルヲ得ス否ラサレハ遂ニ奸策ヲ防制スル能ハス是ヲ以テ證據判然ナレハ倉庫内ニ在ル者ト雖モ處罰セサル可ラス故ニ「謀リ」ノ文字ヲ置クヲ要セス本官ハ益々二十二番ノ修正説ニ左袒セサルヲ得サルナリ

○二十二番 三浦 内閣委員ハ刑法ノ「謀リ」ノ文字ニ準據スルヲ須ヒスト辯明セリ然レハ十三番ノ説ハ穿鑿ニ過クルニ似タリ然レトモ罰則ヲ設ルハ固ヨリ刑法ノ旨趣ニ基クヲ緊要ナリトス顧フニ刑法第百十一條ハ未遂犯ノ事ニ係リ其文ニ據レハ罪ヲ犯サントト謀ルト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ニハ刑ヲ科セス又謀ノ字ノ場合ヨリ一層進ミタルトキハ其豫備ヲ爲スト言ヘリ是亦單ニ豫備ヲ爲スニ止マリ未タ其事ヲ行ハサル者ニハ刑ヲ科セス又其第百十二條ニハ「罪ヲ犯サントシテ」ト言ヘリ而シテ第百十一條ニ於テハ謀ノ字ヲ輕ク視タリ然ルニ本條ハ逃稅犯ニシテ輕罪ト云フニ非サ

輕罪ニ入ル可キ者トス

○三番 目賀田 本條ノ「謀リ」ト言ヘルハ刑法ノ未遂犯ヲ指スニ非ス即チ既ニ積出サントスル形跡ノ顯ハレタル者ヲ謂フ故ニ若シ出港稅ヲ納メスシテ航行スル如キ有ラハ必ス其船舶ノ到達セシ地方ニ於テ處罰スルナリ決シテ倉庫内ニ在ル者ニ及ホスニ非ス因テ主務省ノ草案ヲ朗讀シ以テ參考ニ供セン曰ク「出港稅ヲ納メスシテ酒類ヲ積載セ各府縣ヘ輸送セント謀リ又ハ各府縣ヘ陸揚セシモノハ出港稅金高三倍ノ罰金ニ處シ尙其酒類ヲ沒收ス賣捌キタルモノハ其代價ヲ追徵ス

○二十三番 大島 主介 「謀リ」ノ文字ニ關シ昨日以來許多ノ論議ヲ生セリ今内閣委員ノ説明ヲ聞ケハ此文字ノ本條ニ適當ナ

ラサルヲ覺フ若シ此文字ノ意義ヲ視テ十三番ノ解釋セル如ク倉庫内ニ在ル者ニモ及ホスト爲セハ可ナルモ番外ノ説明及ヒ主務省ノ原案ニ據レハ本條ハ全ク北海道諸產物出港稅則ニ準據セル者ナリ然ルニ該稅則ニハ分明ニ積載ノ文字ヲ掲グルモ本條ニハ其文字ヲ掲ケス而シテ其旨意ヲ包含セシムル者ノ如シ然レハ則チ本條ノ謀ノ字ハ謀議スル等ノ事ニ非ス輸出セントスル者ヲ謂フナレハ益々此文字ノ適切ナラサルヲ知ル故ニ二十二番ノ説ク如ク輸出セントシト修正ス

ルヲ得タリトス

○二十一番 榎村

本官ハ先キニ原案ヲ是認セシモ内閣委員ノ説明及ヒ主務省ノ上申案ニ據テ謀ノ字ノ穩當ナラサルヲ知リ四十番ノ豫陳說ニ左袒セントス元來主務省ノ上申案ニハ船積ノ文字アリテ意義分明ナルニ内閣ニ於テ謀ノ字ニ改メシハ何如ナル故ニ由ルカ内閣委員ハ必ス其故ヲ知ルナラン致テ辯明ヲ煩ハス然レトモ内閣委員ニシテ此改正ハ別ニ意義アルニ非スト主張セハ本官復タ何ヲ言ハン

○議長

二十一番ニ告ク只今番外ノ辯明ヲ請ヘルモ既ニ番外ヨリ數回辯明ヲ爲シタル有レハ本席ハ更ニ辯明ヲ請フヲ要セスト思考ス然ルニ更ニ質問スルハ内閣ニ於テ何ヲ以テ船積ノ文字ヲ改算シタルヤヲ知ラント欲スルニ在ルカ

○二十一番 榎村

然リ其文字ヲ改メタル理由ヲ問フナリ

○三番 種太郎

別ニ理由アルニ非ス本官ノ思考スル所ヲ以テスレハ内閣ハ主務省ヨリ上申セル旨趣ヲ採用シ北海道諸產物出港稅則ニ準據シテ創案セシノミ但シ該稅則ノ制定ハ明治十年ニシテ未タ刑法ヲ制定セサル時ニ係ルヲ以テ文理或ハ妥貼ヲ缺クカ故ニ本案ノ如ク改正セシナラン

○二十二番 三浦

只今ノ番外ノ説明ヲ得テ「謀リ」ナル文字ノ意義ハ既ニ明瞭ナリ内閣委員ノ言ニ北海道諸產物出港稅

○三十番 津田

昨日以來本條ノ謀ノ字ニ關シ許多ノ紛議ヲ生セシモ本官ハ此ノ如キ深奧解シ難キ者トハ思考セス内閣委員ノ意モ亦然ルニ似タリ某議員ハ謀リトノミナレハ三倍ノ罰金ヲ課スル標目ヲ得スト云フモ罰金ヲ課スルニハ固ヨリ判然タル形迹アルニ非サレハ能ハス倉庫内ニ存シ又ハ胸裏ニ藏秘スル者ハ何ヲ以テ罰金ヲ課スルヲ得ン此謀ノ字ハ決シテ謀殺又ハ謀ヲ帷幄ノ中ニ運ラスト云フ如キ意義アルニ非ス單ニ欲スト云フニ過キス故ニ本官ハ謀リト爲スモ輸出セントシト改ムルモ事ニ於テ毫モ障碍ヲ見スト信ス若シ夫レ犯罪ノ形迹ノ判然明白ナルヤ否ヤニ者テハ主任者ノ判決ニ任セテ可ナリ

○議長

二十二番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十三人

○議長

同意者少數ナルヲ以テ二十二番ノ修正說ハ消滅ス

○四十一番 榎村

本官試ニ一說ヲ提出セン即チ酒類ヲ船積シ他府縣へ輸出セント謀リト改ムル是ナリ其理由ハ只謀リト云フノミニシテハ其意義明瞭ヲ缺キ三倍ノ罰金ヲ課スルニ便ナラス船積ト爲セハ其輸出石數判然ニシテ標目ヲ取ルニ便ナルヲ以テ判官ノ疑惑ヲ惹クノ憂ヒ無シ且此船積ナル文字ハ第四條ノ例文ニ依據スルナリ

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

則ハ未タ刑法ヲ制定セサル時ニ制定セルヲ以テ其文意或ハ妥貼ヲ缺クト云フハ實ニ然リ本案ノ罰則ニ「謀リ」ナル文字ヲ置クトキハ到底刑法ノ未遂犯ナル三層ノ原則ニ根據スル者タルヲ免レス故ニ縱令ヒ船積ノ文字ヲ加フルモ其下ニ此文字ヲ置ケハ刑法未遂犯第一層ノ原則ニ退却シ罰則ノ施行ニ窒礙スル無キヲ得ス故ニ此文字ハ創除スルヲ可トス

○四十三番 柴原

内閣委員ノ説明ニ據レハ北海道諸產物出港稅則第十條ニ本クト云フモ本官ノ憂フル所ハ謀ルト云フノミニ止メハ酒類ノ石數分明ナラスシテ三倍ノ罰金ヲ課スル標目ヲ得サルニ在リ若シ船積ノ文字ヲ置ケハ謀ルト云フモ石數ヲ知ルニ難カラス本官ノ二十二番ノ動議ヲ贊成セシハ此力爲メナリ若シ夫レ此動議ノ不幸ニシテ消滅ニ歸セハ更ニ四十番ノ豫陳說ニ同意セントス

○二十八番 伊丹

本官ハ初メ本案ヲ可認セシモ許多ノ説明ヲ聽クニ及テ反テ疑團ヲ生セリ内閣委員ノ辯明ニ據レハ此條ノ輸出ト云フハ船載セシ者ヲ謂フト然レトモ此條ノ謀リナル文字ニ玩味スルニ船載ノ意義ヲ包含スルヲ見出スル能ハス豫備ノ者ニマテ罰ヲ及ホスニ似タリ若シ内閣委員ニ於テ本官ノ解釋ヲ謬誤ト見做サハ此文字ハ必ス修正セサルヘカラス

○二十一番 榎村

贊成

○一番 上杉

「謀リ」ノ文字ニ關シテハ各官ノ見解ニ淺深ノ差別アルヨリ遂ニ滿場ノ議論ヲ生シタルモ番外ノ辯明ニ因テ其意義已ニ明瞭ナリ唯其措辭未タ完全ナラサリシニ四十一番ノ修正說ヲ得テ始メテ完全ナルヲ得タレハ喜テ之ヲ贊成ス

○四十番 井田

本官ハ過刻修正ノ意見ヲ豫陳セシモ四十一番ノ修正ハ本官ノ豫陳セル所ニ比スレハ更ニ明瞭ナルヲ以テ豫陳說ヲ收銷シテ四十一番ヲ贊成ス

○議長

四十一番ノ修正說ハ贊成者アリ問題ト爲ス

○二十七番 渡邊

本官ハ現問題ニ同意セス船積ノ文字ヲ置クトキハ輸出セント謀リテ未タ出港セサル酒類ニシテ石數ノ判然ナル者ヲ罰ニ處セサルニ似タリ那波港ノ如キハ船積スレハ速ニ出港シ港内ニ碇泊スルハ甚タ希レナリ若シ船積スルノ外ハ其事情ノ判然ナル者モ處罰セスト爲セハ恐クハ奸商ノ詐偽ヲ防制スル能ハサラン此ノ如ク思考スルトキハ原案ヲ可認セサルヲ得ス矧シテ裁判官ニシテ證據ノ明白ナラサル者ヲ罰スルハ必無ノ事ナルヲヤ

○四十三番 柴原

四十一番ノ動議ハ尤モ事理ニ適合セリ然ルニ二十七番ノ此好修正ヲ採ラサルハ何ソヤ原案ノ如クナレ

ハ本官等ノ苦慮スル三倍ノ罰金ヲ科スルニ標準ヲ取ル能ハス若シ已ニ船積シタルニ非サレハ何ヲ以テ石數ヲ計算スルヲ得ン故ニ謀リヲ改メテ船積ト作スハ却テ内閣ノ此條ヲ置ル精神ニ協ハントス

○十三番 麟祥 四十一番ノ修正説ハ甚タ不可ナリ若シ船積ト爲ストキハ其尙ホ埠上ニ殘留セル者ハ罰セサルヤ今此ニ幾干石ノ酒類ヲ輸出セントスル者アリ半ハ已ニ船積シ半ハ尙ホ埠上ニ在リトセンニ判官ハ其犯罪タルヲ認ムト雖モ船積ノ文字ニ拘牽セラレ埠上ニ在ル者ニ向テ罰ヲ加フル能ハサラントス原案ノ如ク「謀リ」ト爲セハ判官ノ意見ヲ以テ埠上ニ在ルト船積シタルト問ハス犯罪ト認ムルトキハ之ヲ罰スルヲ得ン且凡ソ法律ハ簡明ナルヲ要ス故ニ修正説ノ如クナラハ本條ノ如キ長文ヲ要セス唯第三條ヲ犯シタル者ハ云云ト言フノミニシテ足レリ此ノ事理アルヲ以テ本官ハ現問題ニハ同意セサルナリ

○八番 神田 孝平 本官モ四十一番ノ修正説ニハ同意セス縱令船積ノ字ヲ添フルモ下句ニ謀ノ字ヲ置クトキハ意義ニ於テ差異ナキカ如シ寧ろ現修正ハ無益ナラン

○四十三番 柴原 和 十三番ハ現問題ヲ駁難シテ船積ノ文字ヲ加フルトキハ港埠ニ在ル者ハ如何スルト云フモ已ニ港埠ニ撤

ヲ沖繩縣ニ在テハ海陸共ニ罰ヲ加ヘヨト云フハ老練ナル議官ノ言ニ似サルナリ本官ハ意ヲク船積ノ後ニ非サレハ罰金ノ標的ヲ取ルニ由シ無シト

○二十二番 三浦 安 發議者ノ答辯セシ如ク船積シ而シテ輸出セント謀リト爲ストキハ十三番ノ駁難セシ如ク支障ヲ致サン又「謀リ」ノ文字ヲ船積ニ冒スルトキハ八番ノ駁難セシ如ク冗贅ニ似タリ是レ北海道諸産物出港稅則ニ準據スト云フモ其發布ハ新刑法制定以前ニ係リテ未タ精密ナラサル者間マ多ク素ヨリ稱シテ金科玉條ト爲ヌ得ヌ且「謀リ」ノ文字ヲ置クトキハ處罰ノ區域廣濶ニ過ク本官ハ處罰ノ區域ヲ

狹隘ナラシメントスル意見ナレハ之ヲ他ノ文字ニ改メント欲ス畢竟北海道諸産物出港稅則ニ準據スルカ故ニ此支障ヲ來スナリ若シ此條ヲ新創スルトキハ謀ノ字ヲ置カサルモ何ノ妨カ之レ有ン故ニ「謀リ」ヲ改メテ輸出セントシト爲サントス且此「謀リ」ノ文字ハ刑法ノ原則ニ比對スルニ甚タ穩當ナラス此文字ヲ掲ル爲メニ確證ナキモ罰ヲ及ホスノ弊ヲ致サン故ニ本官ハ現問題ノ成立セザラントコトヲ望ム

○四十番 井田 讓 本官ハ現問題贊成者ノ一人ナリ現問題ハ事理明瞭ナル者ト思考セシニ意外ニ反對説ヲ來セリ思フニ沖繩縣ニハ許多ノ島嶼アレハ物品ヲ此ヨリ彼ニ輸送スルニハ必

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

出スルトキハ船積ヲ爲セルト同一ナレハ之ヲ罰スルニ何ノ支障カ之レ有ン船積ノ文字ハ見ニ北海道諸産物出港稅則中ニ之ヲ掲ケリ故ニ十三番ノ駁難ハ本官ノ疑訝ニ堪ヘサル所ナリ十三番ハ北海道諸産物出港稅則ヲモ改正スル意度ナリトセハ可ナルモ問題説ノ如クスルトキハ港埠ニ在ル者ハ罰スルヲ得サルコトハ決シテ之レ無ラン八番ハ船積ノ文字ヲ挿入スルモ無益ナリト辯スレトモ此文字ヲ置ケハ石數ヲ甄別スルヲ得テ罰金ヲ課スルニ便ナリ彼ノ北海道諸産物出港稅則ニ船積ノ文字ヲ置キシモ此カ爲メノ前ニ内閣委員ノ辯明セシ如ク本條ノ精神ハ全ク北海道諸産物出港稅則第一條ニ根據セル者ナレハ愈ヨ船積ナル文字ノ緊要ナルヲ知ルナリ

○二十二番 三浦 安 現問題ノ發議者ニ質問セン本條ノ「謀リ」ノ文字ハ船積ノミニ冒スルカ輸出云云マテニ冒スルカ

○四十六番 楠本 正隆 二十二番ニ答フ本官ハ酒類ヲ船積シ而シテ輸出セント謀ルト上下ニ分斷スルノ意ヲ以テ是レ北海道諸産物出港稅則モ同一ナリ其議官ハ船積ト爲ストキハ區域甚タ狹ク將サニ船積セントシテ猶ホ港埠ニ在ル者ハ處罰ヲ免レント駁難スルモ其陸上ニ在ル者ハ素ヨリ罰ヲ加ヘサルハ北海道諸産物出港稅則ニ據テ考フルモ知ル可キノミ然ル

ス船載セサル可ラス故ニ船積スルモ縣内ニ往來スルハ素ヨリ此條ニ關係セス此條ハ船載シテ他縣ニ輸出セントスル者ヲ言フナリ十三番ハ陸上ニ在ル者ハ如何ト詰問スレトモ其陸上ニ在ル者ハ素ヨリ處罰セサルノミ横濱關稅ノ如キ又然リ八番ハ「謀リ」ノ文字ニ疑團ヲ懷クモ素ヨリ倉庫内ニ在ル者ニ及ホスニ非ス實ニ無用ノ苦慮ト謂フ可シ二十七番ハ「謀リ」ノ文字ヲ掲レハ點商ノ奸策ヲ招カントコトヲ憂フレトモ是レ營業稅ノ部分ニ屬ス此等ノ事項ヲ把テ此明白ナル修正説ヲ駁難スルハ解ス可ラス願クハ速ニ問題ニ決センコトヲ

○四十三番 柴原 和 十三番ハ港埠ニ在ル者ハ如何ニ處置スルヤト詰問セリ本官ハ陸上ニ在ルモ犯罪ノ分明ナル者ハ素ヨリ處罰セントス例ヘハ百石ノ酒類ヲ船積セント謀リ五十石ハ已ニ船積シ五十石ハ猶ホ陸上ニ在リトセンニ其陸上ニ在ルハ即チ犯罪ノ形迹アル者ナリ二十二番ハ「謀リ」ノ文字ニ深奥ノ見解ヲ下セトモ本官ハ之ニ反ス二十二番ハ北海道諸産物出港稅則ハ完全ナラサル者ナレハ今日之ニ準據ス可ラスト云フモ是レ目今猶ホ實行セルニ非スヤ然レハ則チ之ニ準據スルモ何ソ害セン本官ハ該稅則ヲ看テ此ノ如ク疎漏ニシテ取ルニ足ラサル者トハ做ササルナリ

○十三番 贊作

敢テ辯ヲ好ムニ非サレトモ聊カ一言セン現問題ノ完全ナラサルハ僅僅一二字ノ添刪ナルニ發議者贊成者已ニ見解ヲ異ニセルヲ以テスルモ之ヲ證ス可シ發議者及ヒ贊成者ノ言ヲ聞クニ一ハ船載セサレハ罰セスト云ヒ一ハ船載セントスル形迹ノ判然ナレハ陸上ニ在ルモ處罰スト云ヘリ顧フニ知識ニ富メル議官諸君ニシテ猶ホ此ノ如キ見解ヲ異ニスルヲ以テスレハ下民ノ疑惑ヲ生スルヤ推知ス可シ某議官ハ十年發布ノ北海道諸產物出港稅則ヲ援引スレトモ是レ既ニ述タル如ク當時ハ未タ刑法ヲ制定セサル時ナレハ該稅則モ隨テ精密ノ者ナラス今日ニ於テ之ニ準據スルハ不可ナリ四十一番ハ船積ノ文字ヲ除去スレハ北海道ト沖繩縣ト法律ヲ異ニシ日本國內ニ二様ノ法律ヲ存スルハ不可ナリト云フモ沖繩縣ハ素ヨリ他縣ト同シカラス故ニ本官ハ二様ノ法律ヲ存スルモ支障ヲ見スト信スルナリ

○議長 四十一番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者八人

○議長 少數ナルヲ以テ四十一番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者十四人

○議長 少數ナルヲ以テ第六條ハ消滅ス次條ニ移ル

散見スト云フモ是レ恐クハ數量ニ關スル所ニ用ヒシナラン規則文中ニハ此字ヲ見ス舊幕府時代ヨリ大政維新ノ今日マテ貸借證文等ニハ拾ノ字ヲ慣用セリ是レ奸詐ヲ防カン爲メノミ

○四十一番 楠本 正隆 贊成

退席

四十番

井田

讓

○議長 本條ノ拾ノ字ヲ十二改ムル動議ハ贊成者アリ問題ト爲ス

○十三番 贊作 麟祥

孰レニ從フモ可ナレトモ本官ノ携持スル酒類稅則醬麴稅則ノ罰則ニハ拾ノ字ヲ用ヒタリ但シ何十條ト云フニハ拾ノ字ヲ用ヒス四十三番ハ何等ノ規則ヲ指シヤ解セサルナリ

○議長 四十三番ニ告ク船稅規則ノ罰則ニハ二拾圓云云即チ拾ノ字ヲ用ヒタルハ内閣委員ノ説明ノ如シ何如

○四十三番 柴原 和

本官ハ誤認セシナリ提出シタル動議ハ收銷センコトヲ乞フ

○議長 各位モ聞ク如ク發議者ヨリ其説ノ誤認ニ出タルヲ以テ收銷センコトヲ乞ヘリ即チ收銷シテ可ナラント思考スレトモ其動議ハ已ニ問題ト爲リタレハ議場ノ公共物ト爲ス故ニ收銷ス可キヤ否ヤヲ衆議ニ問ハン異見アラハ發議セヨ

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

書記官 森山 朗讀

第七條

第四條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

○四十三番 柴原 和 聊カ修正ノ意見ヲ提出セン本條ノ「五十」ノ十八拾ニ作レリ然ルニ現行法ニ於テ拾ノ字ヲ用フルヲ見

ス從來金錢ノ計算ニハ拾ノ字ヲ慣用セルモ刑法等ニハ十ノ字ヲ下セルニ似タリ故ニ本條ソ拾ノ字ハ恐クハ誤寫ナラン敢テ内閣委員ニ質ス又本案第一條ニハ沖繩縣ト言ヒ第五條ニハ縣ト言フ前キニ内閣委員ニ質セシニ別ニ意義アルニ非スト答ヘリ然レハ則チ兩條ヲ一定ニ出テシメン本官ハ共ニ縣下ト爲スヲ可ト認ム

○議長 内閣委員ニ問フ拾ノ字ハ果シテ誤寫ナルヤ

○外三番 目賀田 種太郎 拾ノ字ハ別義アルニ非ス現行刑法ニハ十ノ字ヲ用ヒタルモ諸稅則等ニハ多ク拾ノ字ヲ用ヒタルヲ以テ

之ニ倣ヘルナリ

○議長 拾ノ字ノ誤寫ニ非サルハ内閣委員ノ言ニ依テ明瞭ナリ

○四十三番 柴原 和 然レ八十ノ字ニ改メン内閣委員ハ稅則等ニ

○議長 異議ナキヲ以テ收銷ス

○二十一番 榎村 正直 第六條ノ次ニ一條ヲ加ヘント欲ス知ラス可

ナルヤ

○議長 第六條ノ第二項ヲ加フルナレハ提出スル可ナリ若シ新ニ一條ヲ加フルナラハ本條議決ノ後ニ非サレハ不可ナリ

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

議員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本條ニ決ス

○二十一番 榎村 正直 第六條ノ次ニ主任官吏ノ検査ヲ拒ムモノハ

二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スト云フノ一條ヲ置テ之ヲ第七條ト爲シ以下逐次ニ條目ヲ改メン此條ヲ置ク理由ハ第五條ニ「主任官吏ニ於テ検査スルコトアルヘシ」ト言ヒ而シテ其検査ヲ拒ム者ノ裁制ヲ設ケス故ニ其缺漏ヲ補フナリ

○二十三番 大鳥 圭介 贊成ス第五條ニ罰則ヲ設ケサルハ缺漏ナリ

然レトモ過日番外ハ普通刑法ニ依テ處分スト云ヘルモ現今ニ在テハ本規則中ニ罰則ヲ附スルヲ常トス故ニ第五條ニ對照シテ此ニ罰則ヲ掲グルヲ適當ナリトス

○一番 上杉 茂憲 贊成

○議長 二十一番ノ動議ハ賛成者アリ問題ト爲ス

○外三番種太郎 問題發議者ニ質問セン第五條ニ罰則ヲ附セサルハ過日モ辯セシ者ノ如シ敢テ問フ二十一番ノ之ヲ附スルハ何等ノ旨意ニ因テ然ルヤ

○二十一 榎村 正直 已ニ賛成者ノ詳細ニ辯明シタレハ此ヲ以テ了解センコトヲ乞フ本官ハ再述セス

○議長 他ニ發議ナクハ取決セン第七條ヲ加フル動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十五人

○議長 正半數ナルヲ以テ例ニ遵ヒ本席之ヲ決シ第七條ヲ加フルニ決ス  
書記官 森山 朗讀

第八條

此規則ニ違犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

○議長 發議ナクハ取決セン本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第九條

ルヲ以テ第三讀會ハ明日之ヲ開カン散會セヨ

午後零時十五分開場

元老院會議筆記 明治十七年十一月十二日 禁傍聽

○第四百五十三號議案 沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀 第三讀會

議長 佐野 常民

出席議員

一 番	上杉 茂憲
二 番	田邊 太一
三 番	籠手田 安定
四 番	東久世 通禮
五 番	野村 素介
六 番	海江田 信義
七 番	神田 孝平
八 番	鍋島 幹
九 番	津田 出
十 番	河田 景與
十一 番	箕作 麟祥
十二 番	
十三 番	

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

前條々ノ場合ニ於テ家族雇人及囑託ヲ受ケタル者又ハ乘組人ノ所犯ニ係ルモノト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○二十七番 渡邊 本條ニ少シク修正ヲ加ヘン其修正ハ「又ハ」ノ二字ヲ削リ「乘組人」ノ三字ヲ「雇人」ノ下ニ入レ

「及」ノ一字ヲ「乘組人」ノ上ニ入ルル是ナリ文章ノ布置ニ於テモ上ニ「及」ノ字アリテ下ニ又ト云ヘハ煩雜ニ似タリ又「所犯ニ係ルモノ」ト言ヘル「モノ」ノ二字ヲ削除セシ其文案ハ家族雇人乘組人及囑託ヲ受ケタル者ノ所犯ニ係ルト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘシト云フニ在リ

○議長 二十七番ノ修正説ハ賛成者ヲ得サルヲ以テ消滅ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十八人

○議長 第二讀會ハ此ニ終ル

○外一 渡元 本案ハ逐條容易ニ議決セシモ第六條ノ「謀リ」ノ文字ニ許多ノ紛議ヲ生シ遂ニ原案修正案共ニ消滅スルノ不幸ヲ致セリ然ルニ本案ハ内閣ニ於テモ急施ヲ要スルナレハ本日引續キ第三讀會ヲ開カンコトヲ請求ス

○議長 内閣委員ノ請求セル有ルモ他ノ議案ヲ議スル計度ナ

十七番 長松 幹  
十八番 西 周  
二十番 林 友幸  
二十一 榎村 正直  
二十二 三浦 安  
二十三 大鳥 圭介  
二十五 大久保 一翁  
二十七 渡邊 清  
二十八 伊丹 重賢  
三十三 宮本 小一  
三十四 神山 那廉  
三十五 榊取 素彦  
三十七 大給 恒  
三十九 橋口 兼三  
四十 井田 讓  
四十一 楠本 正隆  
四十三 柴原 和  
四十四 福原 實  
四十五 青山 貞  
渡元 正

内閣委員 渡元 正

同 番外參事院議官補 若山 儀一  
二番  
午前第九時四十分開場

○議長 第四百五十三號議案ノ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

布告案

沖繩縣酒類出港稅則左ノ通制定シ本年 月 日ヨリ施行ス  
○八番 神田 布告案中「本年」ノ本ノ字ヲ削除セン昨日内閣  
委員ノ言ヲ聞クニ本案ハ急施ヲ要スト然ク急施ヲ要スト云  
フモ本年ノ餘ス所ハ僅僅五十日ニ足ラス然レハ則チ印刷時  
間到達日限ヲ扣除セハ其餘ス所ハ幾何ソヤ故ニ若シ原案ニ  
從フトキハ人民ノ未タ周知セサルニ早ク既ニ本案ノ軛下ニ  
立タサルヲ得ス此ノ如キハ立法ノ旨意ニ非ス又他ノ法律ニ  
比シテ苛酷ナリト謂ハサルヲ可ラス竊ニ思フ本案ノ起草ハ  
數月前ニ在リシヲ以テ原案ノ如ク本年ト掲ケタルナラン本  
官ハ本年ニ布告スルモ實施ハ明年六七月ノ交ニ於テセンコ  
トヲ望ム若シ原案ニ從フテ議定上奏スルモ到底本年ニ施行  
シ得ヘキニ非サレハ此一字ノ爲メニ更ニ本院ノ檢視ニ付セ  
ラルルノ煩ヲ致サン是レ修正ノ理由ナリ幸ニ定數ノ贊成ヲ  
得テ問題ト爲ランコトヲ望ム

書記官 森山 朗讀

沖繩縣酒類出港稅則

第一條

沖繩縣ヨリ酒類ヲ他府縣ヘ輸出スルトキハ出港稅トシテ酒  
類壹石ニ付金三圓ヲ賦課ス

○外 一番 渡正 本會ハ第三讀會即チ逐條確定議決會ナルヲ以  
テ各位ノ參考ニ供スル爲メニ一言セン抑モ第二讀會ニ於テ

原案第六條ニ對スル種種ノ修正說ハ悉ク消滅シ原案モ亦自  
然ニ消滅シ今ヤ全ク其痕ヲ留メサルノ不幸ニ遭ヘリ然ルニ  
此條ハ各位モ知ル如ク實ニ本會中ノ眼目ニシテ第一讀會以  
來各位モ其精神ニ對シテハ毫モ間然スル無ク唯其行文ノ穩  
妥ナラサル爲メニ益々之ヲ流暢ナラシメントスル深切ノ注  
意ヨリシテ却テ此不幸ヲ來セシノミ其レ然リ豈之ヲ廢棄ニ  
付ス可ケンヤ本官ト雖モ行文ヲシテ益々完全明晰ナラシム  
ルハ素ヨリ企望スル所ナレトモ之カ爲メニ消滅ニ歸セシム  
ルハ遺憾ニ堪ヘス願クハ各位ノ前陳ノ理由ヲ領シテ原案第  
六條ノ精神ヲ本案ニ留存セシメンコトヲ

出席 二十九番 細川 潤次郎

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

○二十五番 大久保 贊成

○六番 野村 贊成

○二十一番 榎村 贊成

○二十番 林友 贊成

○十七番 長松 贊成

○議長 八番ノ修正ハ贊成者定數ニ滿ルヲ以テ問題ト爲ス

○四十三番 柴原 本官ハ原案ヲ是認ス竊ニ記ス曾テ戒嚴令ノ  
本院ノ議定ニ付セラルルヤ恰モ本案ノ如ク「本年月日」ノ  
文字ヲ掲ケリ當時年末ニ際シタレハ本年ノ字ヲ削ル可シト  
論スル議官アリシモ畢竟其施行ノ順序ハ行政官ノ意度ニ在  
ル者ニシテ素ヨリ立法官ノ容喙ス可キニ非ストシテ削除論  
ハ議場ニ排斥セラレタリ故ニ本案ノ施行モ亦十八年一月一  
日ヨリスルモ何年月日ヨリスルモ敢テ本院ノ關係ス可キ無  
キナリ

○議長 八番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ八番ノ修正說ハ消滅ス本案ヲ可トス  
ル者ハ起立セヨ

起立者二十人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス次條以下第二讀會ニ  
異論ナカリシ者ハ本會ノ定則ニ拘ラス或ハ連帶シテ議決ニ  
付スル有ル可シ

書記官 森山 朗讀

第二條

出港稅ヲ徵收スルタメ那霸港ニ船改所ヲ設置ス

第三條

荷主ハ酒類ヲ他府縣ヘ輸出スルトキ出港稅ヲ船改所ニ納メ  
船積免狀并領收證ヲ受ケ船積スヘシ

第四條

船長ハ船積免狀ニ照シ酒類ヲ船積シ出港前ニ於テ其積石數  
ヲ船改所ニ届出ヘシ

那霸港外ノ地方ヨリ直ニ出航スルトキハ其地方役所ニ届出  
ヘシ

第五條

沖繩縣下ヨリ出港スル船舶ハ主任官吏ニ於テ檢査スルコト  
アルヘシ

但其官吏ハ主任官タルノ證票ヲ携帯スヘシ

○二十七番 渡邊 第五條中「沖繩縣下」ノ「下」ノ字ヲ削除  
セン此文字タル第二讀會ニハ異論ナカリシモ他條ニハ沖繩



縣ト言ヒ獨リ此條ニ沖繩縣下ト言フトキハ人民或ハ第五條ヲ視テ縣廳所在ノ地ト解スル無キヲ保セス特ニ第四條第二項ニ「那覇港外ノ」ノ字句アルヲ以テ此條ノ「下」ノ字ヲ削除セサレハ其彌々疑惑ノ媒介ト爲ルヲ信スルナリ

○二十九番 細川潤 贊成

○八番 神田 贊成

○二十一番 榎村 贊成

○三十三番 官本 贊成

○十三番 實作 贊成

○議長 二十七番ノ動議ハ定數ノ贊成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○四十三番 柴原 本官ハ原案ヲ是認ス既ニ第一讀會ニ於テ獨

リ第五條ニ縣下ト掲クル所以ヲ内閣委員ニ質問セシニ偶然ニ削除ヲ忘却シタルナリト答ヘリ故ニ第二讀會ニ於テ修正セント欲セシモ退テ考フルニ原案却テ用意ノ周到ナルヲ曉レリ即チ其出港スル船舶ニハ他縣ノ船籍ニ屬スル者モ亦之レ有ルカ爲メニ本縣ト他縣トノ船舶ヲ問ハスニ沖繩縣下ヨリ出港スル者ト云フノ意味ヲ爲ス人民或ハ縣下トハ縣廳ノ在ル所ト解スル無キニ非サル可キモ要スルニ縣下トハ全

ノ字ノ釋義ヲ下タスハ恐ク新置ノ沖繩縣ニ對スル政策ニ非サラン故ニ此「謀」ノ字ヲ削リテ其區域ヲ減縮ス可シト云ヘルハ實ニ吾心ヲ獲タル者トス然ルニ「謀リ」ノ文字ヲ削リ填スルニ「シ」ノ字ヲ以テスル修正説ニ起立ヲ表セサリシハ此ノ如クスルヤ送狀ヲ作ルモ倉庫ヨリ搬出スルモ或ハ「輸出セントシ」ノ範圍内ニ屬スル無キヲ保セサレハナリ本官ハ或ハ輸出セントシテ船積シト修正セント思考セシモ猶ホ未タ心ニ安ンセス然ラハ則チ原案ニ從ハン乎原案ハ其區域ノ泛濫ナルヲ奈何セン蓋シ適當ノ修正文字ヲ得サルニ發言スルハ定見ナキノ誹議ヲ免レサル可キモ今日ノ意見ヲ以テスレハ先ツ原案第六條ヲ恢復シ而シテ數名ノ修正委員ヲ選定シ其報告ヲ俟テ開會センコトヲ望ム是レ敢テ明日ニ延會スルヲ須ヒス本日中直チニ事ニ從フヲ得ントス且特ニ一言ス若シ決議ニ際シ原案修正案共ニ起立者ノ少數ニシテ再ヒ白紙ヲ生スル如キハ遺憾尤モ甚キヲ以テ其決議ヲ二段ニ分チ先ツ原案第六條ヲ復スル議ヲ決シ更ニ修正委員ヲ置ク議ヲ決センコトヲ切望ス若シ然ラスシテ一齊ニ取決セハ兩議ノ間ニ於テ必ス各位ノ不滿ヲ來タス有ンコトヲ恐ルヲ以テ爲メニ議長ノ參考ニ供セントスルノミ

○二十二番 三浦 安 三十七番ノ發議ハ特別ノ建議ヲ爲セルカ將

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

縣ヲ指ス者トス故ニ本官ハ寧ろ原案ヲ是認ス况ヤ其語路モ亦甚タ順ナルヲヤ

○議長 第五條ニ對スル二十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 少數ナルヲ以テ二十七番ノ修正説ハ消滅ス第二條乃至第五條本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○三十七番 大給 今ヤ第五條ハ既ニ決定シ將サニ第六條ニ移ラントス本官爰ニ第二讀會ニ消滅セシ原案第六條ヲ恢復スル修正説ヲ提出ス抑モ原案第六條ハ檢束上ニ於テ須要ノ者トス第二讀會ニ於テ各種ノ修正説ト共ニ消滅セシモ未タ一人ノ此條ヲ廢棄セント論スル有ラサリシハ各位ノ知ル所ナリ唯其文字ヲ完全ナラシムル爲メニ種種ノ修正ヲ試ミタルモ終ニ不幸ノ結果ヲ來セシナリ既ニ其精神ニ同意セル以上ハ決シテ廢棄ニ付ス可キニ非ス本官ハ殊ニ此條ニ「謀リ」ノ文字ヲ存スルトキハ其區域ノ廣濶ナルヲ恐ルト云ヘル論旨ニ感服ス實ニ沖繩ハ新置ノ縣ナレハ百事寬假ヲ旨トシ次第二精密ニ進マシムルヲ施政ノ順序ト爲ス刑法ニ據テ「謀」

ヲ意見ヲ開陳セルカ敢テ問フ

○三十七番 大給 原案第六條ヲ復スル論旨ニシテ併せて意見ヲ陳述セシナレハ即チ特別ノ意見ナリ

○議長 此ノ如キハ特別建議ナラン

○三十七番 大給 然り

○二十二番 三浦 然ラハ則チ之ヲ贊成ス抑モ第二讀會ニ於テ議論多岐ニ涉リ終ニ其適歸ヲ得サリシニ今又本會ニ於テ其覆轍ヲ履マハ恐クハ本院ノ體裁ニ關係セン先ツ一タヒ原案ニ復シ更ニ附託委員ヲ置テ修正セシムルハ適宜ノ建議ト謂フ可シ但シ建議者ハ一タヒ原案ニ復スル決ヲ取り更ニ修正委員ヲ置ク決ヲ取ント云フモ本院果シテ此ノ如キ規則慣例アリヤ本官ハ一タヒ原案ニ復セハ更ニ委員ヲ置クヲ要セスト信ス故ニ原案ニ復スル爲メニ委員ヲ置キ其委員ノ提出スル報告案ヲ以テ本案ト定ムル者ト爲サハ可ナラン三十七番ノ辯論ハ或ハ精密ニ涉リ爲メニ本官ヲシテ其要領ヲ聞クヲ得サラシメシ乎然レトモ議長ニシテ若シ建議者ノ說ヲ容レハ本官復タ何ソ異言ヲ挿マン

○議長 三十七番ト二十二番トノ意見ハ同一ナリ必シモ決ヲ二段ニ取ラサル可ラスト云フニ非ス

出席 三十二番 鷲尾隆聚

○三十七番大給 思フニ原案第六條ニシテ消滅ニ歸スルハ遺憾ニ堪ヘサルカ故ニ先ツ原案ニ復シテ修正委員ヲ置キ其修正報告ヲ得テ議決セント欲スルニ在リ然レトモ或ハ原案ヲ可トスル論者甚タ多クシテ修正ヲ要セスト云フニ決スルハ亦遺憾ニ堪ヘサルカ故ニ併セテ議決ノ方法ヲ陳述シテ議長ノ參考ニ供シタリ是レ蓋シ原案ノ恢復ヲ切望スルカ爲メノ

○二十二番三浦 議長ノ參考ニ供スル決議ノ方法タラハ敢テ顧慮ヲ要セス修正委員ノ提出スル者ヲ本案ト爲シテ可ナラシテ修正ヲ欲セス單ニ原案ニ復スルヲ望メル論者ハ更ニ發議スルヲ得ン何ソ本説ノ行ハレサルヲ憂ヒンヤ

○議長 三十七番ノ特別建議タル其要旨ハ原案第六條ハ素ヨリ恢復セサル可ラサル者トス但シ之ヲ恢復スルモ亦修正セサル可ラス其之ヲ修正スルニハ付託委員ヲ選定ス可ク而シテ單特ノ條文ナルヲ以テ今日ニ其報告ヲ得テ續會ヲ開ク可シト云フニ在リ故ニ此建議ニシテ議場ノ採用スル所ト爲レハ各位暫時退席シテ報告案ノ提出ヲ俟ツヲ要ス即チ三十七番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ三十七番ノ特別建議ニ決ス乃チ投票

人ニ當選シ反覆審議シテ報告セシ修正案ハ現ニ書記官ノ朗讀セシ所ナリ昨日以來議論紛糾タル後ニ於テ本案ノ如クニ修正セシハ唯其處罰ノ目的ヲ明ニシテ被及スル區域ヲ減縮シ而シテ原案ノ意義ニ基クニ外ナラス要スルニ文理甚タ明白ナレハ復タ多辯セス

○三十五番榊取 本官モ原案第六條ニ關シテハ實ニ了解ニ苦メリ其了解ニ苦ム所以ハ獨リ「謀リ」ノ文字ノミニ止マラス即チ原案ヲ布告セハ恰モ本官ノ了解ニ苦ム如ク行政官司法官皆共ニ了解ニ苦ミ隨テ説明ヲ政府ニ乞フノ煩煩ナルヲ信ス蓋シ原案ニ據ルトキハ處罰ノ區域甚タ明白ヲ缺クヲ以テ自ラ船積スル以前ニ涉ラサルヲ得サレハナリ故ニ本官ノ顧慮セシハ獨リ「謀リ」ノ文字ヲ改ムルノミニ止ラサリシ然ルニ今ヤ船積ヲ標的ト爲シテ修正セシ以上ハ其區域判然ニシテ復タ疑ノ容ル可キ無シ欣テ之ヲ贊成ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀  
第七條  
第四條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ

沖繩縣酒類出港稅則制定ノ儀

以テ五名ノ付託修正委員ヲ選定セン

此間投票

○議長 得票多數ヲ以テ二十二番三浦 十三番實作 大給 四十三番柴原 四十一番楠本ヲ付託修正委員ト爲ス其報告ヲ俟テ續會ヲ開カン暫時散會セヨ

午前第十時四十分閉場

午後零時二十五分開場

退席 六番 野村素介

同 七番 海江田信義

同 八番 神田孝平

○議長 午前ノ續會ヲ開キ即チ午前ノ決議ニ依リ報告案ヲ以テ問題ト爲ス

書記官 森山 朗讀

第六條

シテ船積シ

出港稅ヲ納メスシテ酒類ヲ他府縣ヘ輸出セント謀リ又ハ輸出シタル者ハ出港稅金三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ其酒類ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴ス

○三十七番大給 午前ニ付託修正委員ヲ置キ原案第六條ヲ修正セシムル本官ノ建議ハ幸ニ議場ニ行ハレ本官モ委員ノ一

處ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

第八條

主。任。官。吏。ノ。檢。査。ヲ。拒。ム。者。ハ。二。圓。以。上。二。拾。圓。以。下。ノ。罰。金。ニ。處。ス。

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第九條

此規則ニ違反シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第八條

前條々ノ場合ニ於テ家族雇人及囑託ヲ受ケタル者又ハ乘組人ノ所犯ニ係ルモノト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘ

第九條

シ  
右奉 勅旨布告候事

○二十一番 榎村 第九條ニ但刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此限ニ非ストノ一句ヲ加ヘン其理由ハ刑法第七十五條第一項ハ抗拒ス可ラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サル所爲ハ其罰ヲ論セサルコトヲ言ヘリ若シ本案第十條ノ正文ニ止ムルトキハ實ニ抗拒ス可ラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サル所爲モ亦本案ニ據テ處罰セラルルノ不幸アラン論者或ハ本案ニハ然ル如キ場合ナシト云フ可キモ既ニ第十條ノ明文アル以上ハ荷主船長輩ニ在テハ他ノ地方ニ向テ出港スル意思ナキモ他人ヨリ乗組人等ヲ強制シテ鹿兒島地方等ニ輸出セシメハ是レ荷主船長輩ハ其意ニ非サル強制ニ遇ヒ更ニ處罰ニ遭フ者ト謂ハサル可ラス本官ハ那覇港ノ地理ニ暗シト雖モ本案ノ主旨ハ獨リ他縣ニ出港スル者ニ課税スルニ在テ島内ニ於ル彼此ノ運漕ニ課税スルニ非サル可シ然レハ則チ此ノ島港ヨリ彼ノ島港ニ運漕スルニ際シ抗拒ス可ラサル強制ニ遇ヒ性命ヲ重スル爲メニ寧ロ其強制ニ從フ無キヲ保セス故ニ前陳ノ修正ヲ提出ス贊成ヲ得テ問題ト爲ルニ至ラハ幸ヒ甚シ

○十三番 眞作 麟祥 二十一番ノ動議ハ用意周到ナルカ如シ實ニ酒造税則其他ノ行政規則ニ在テハ二十一番ノ云フ所ハ幾ント

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本會ヲ確決會ト看做シ例ニ從ヒ修正ノ理由ヲ具シテ上奏セン各位散會セヨ  
午後零時五十分閉場

一樣ニ出ツ然ルニ本案ニハ之ヲ掲ケス但タ二十一番ノ本案第十條ヲ引テ起論セルハ稍ヤ本官ノ解セサル所トス因テ去就ヲ決スル爲メニ二十一番ニ質サン本案第十條ハ「家族雇人及囑託ヲ受ケタル者又ハ乗組人ノ所犯ニ係ル者ト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘシ」ト言フ然ルヲ二十一番ハ荷主船長ハ他縣ニ出航ス可キ意思ナキニ乗組人ノ之ヲ強制セル爲メニ罰ヲ犯スノ惡意ナキ荷主船長ヲ罰スルハ苛酷ナリト云ヘリ是レ或ハ刑法第七十七條ヲ云フニ非サル乎

○二十一番 榎村 本官ノ旨趣ハ本案第十條ニ在ルニ非ス第十條ヲ引シハ近ク例ヲ之ニ取リシノミ即チ本案第十條ニ在テスラ荷主船長ハ不慮ノ處罰ヲ受ルナリ若シ抗拒ス可ラサル場合ニ遇フテ已ムヲ得サルニ出タル所爲ハ不慮罪ニ入ル可キニ獨リ本案ニ限り然ラサルヲ憾ムノミ蓋シ抗拒ス可ラサル強制ニ遇フ場合ハ何時ニ起發スルヤヲ知ル可ラサル者ナレハナリ

○議長 二十一番ノ動議ハ贊成者ナキヲ以テ消滅ス本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十七人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ第三讀會ヲ了ル更ニ本會ヲ以テ確決會ト看做スニ同意スル者ハ起立セヨ